

- 河南町には鉄道駅がなく、町内の地域公共交通は各区域と鉄道駅を結ぶ自治体コミュニティバス（以下、「金剛ふるさとバス」と呼ぶ）と町内循環バス・タクシー（以下、「カナちゃんバス」及び「やまなみタクシー」と呼ぶ）により、住民の移動手段を持続可能な地域公共交通ネットワークとして確保・維持している。
- そこで、利便増進事業として金剛ふるさとバスの路線再編や、全ての地域公共交通が発着する交通広場・交通結節点の整備を行い、地域へ利便性の高い地域旅客運送サービスを提供する。

事業の内容

事業①各路線の再編

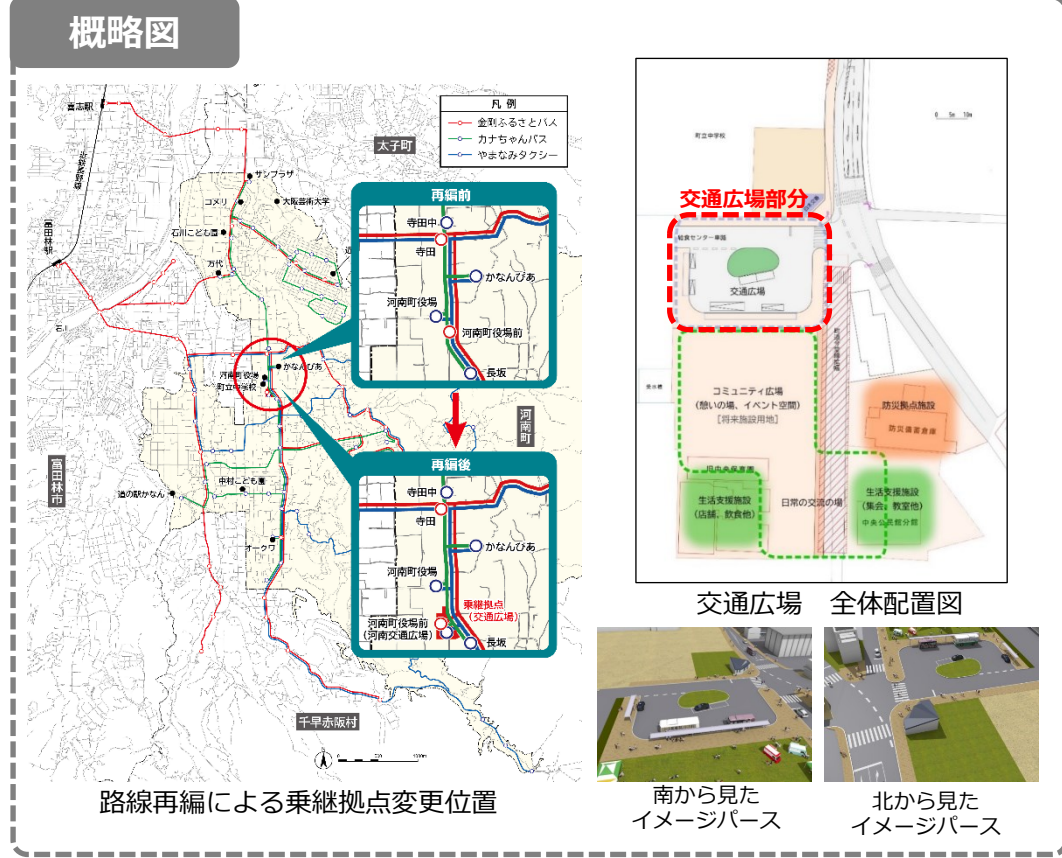
金剛ふるさとバス「寺田停留所」とカナちゃんバス・やまなみタクシーの起終点である「かなんぴあ停留所」間の乗継が不便なので、交通広場を整備（事業②）し、各路線を交通広場に乗り入れる再編（事業①）をすることにより、利便性の高い乗継を可能にする。

事業②交通広場・交通結節点整備

交通広場を整備し、各路線を交通広場に乗り入れる再編（事業①）することにより、利便性の高い乗継を可能にする。交通広場には、バスロータリーや待合施設（シェルター・ベンチ・休憩室・トイレ・デジタルサイネージ等）を整備し、バス待ち環境の整備を行い、更なる利便性の向上を図る。

事業の効

- ・乗換えのためのバス停移動時間の短縮
現状では金剛ふるさとバス（さくら坂循環線・白木線）とカナちゃんバス・やまなみタクシーの相互乗換には5分程度（寺田⇄かなんぴあ間の約380m）の移動時間を要していたが、移動時間が短縮される。
- ・鉄道駅アクセス可能人口率
乗継環境を改善することで町内の公共交通カバー人口の97%の人口が鉄道駅にアクセス可能となる。
- ・年間利用者数
年間利用者数について、事業実施により5%の利用者数の増加を見込む。また、利用者数の増加により収支率が改善し、行政負担額低減も同時に見込む。



- ・作成自治体 大阪府南河内郡河南町
- ・事業実施区域 河南町
- ・事業実施予定期間 R7年4月～R9年3月